

大きさ・幅1丈2尺(3・63  
6尺)、高さ1丈4尺  
(4・242尺)

位置・長倉町の明治生命ビル  
とヒツジヤの間

**追手門**

城の正門で、城門の中では最も大きい。本丸へは虎門から入り、この門を通り、桂城公園入口にあった小中城門を通じて入った。

大きさ・幅2丈3尺1寸(6・999尺)、高さ2丈(6・060尺)

位置・市役所中央玄関入口付近

**小中城門**

本丸の正面(南側)にあった門で、門の外には内堀があり、板橋が架かっていた。

大きさ・幅2丈2尺(6・666尺)、高さ1丈8尺(5・454尺)

位置・桂城公園入口

**随時門**

本丸の西側にあつて、家老級の住む三ノ丸とつながっていました。普段は開けられることのない門で、戊辰戦争の際、城主が城から退却するときこの門から出たと伝えられています。

大きさ・幅1丈5尺(4・54尺)

5尺)、高さ1丈2尺(3・636尺)

位置・桂城公園西側

**搦手門**

城の裏門で、本丸にはこの門と小中城門から出入りしていた。戊辰戦争の際、南部軍がこの門から攻め入って城を一時占拠した。

大きさ・幅1丈3尺5寸(4・090尺)、高さ1丈1尺5寸(3・480尺)

**穴門**

石垣や土塀などに埋め込まれたように造られた小さい門のことをいいます。この門の場所は通称として残っています。門の下方にある蔵などへの出入口であったと考えられます。

大きさ・幅1丈3尺5寸(4・090尺)、高さ1丈1尺5寸(3・480尺)

位置・武道館前の北側

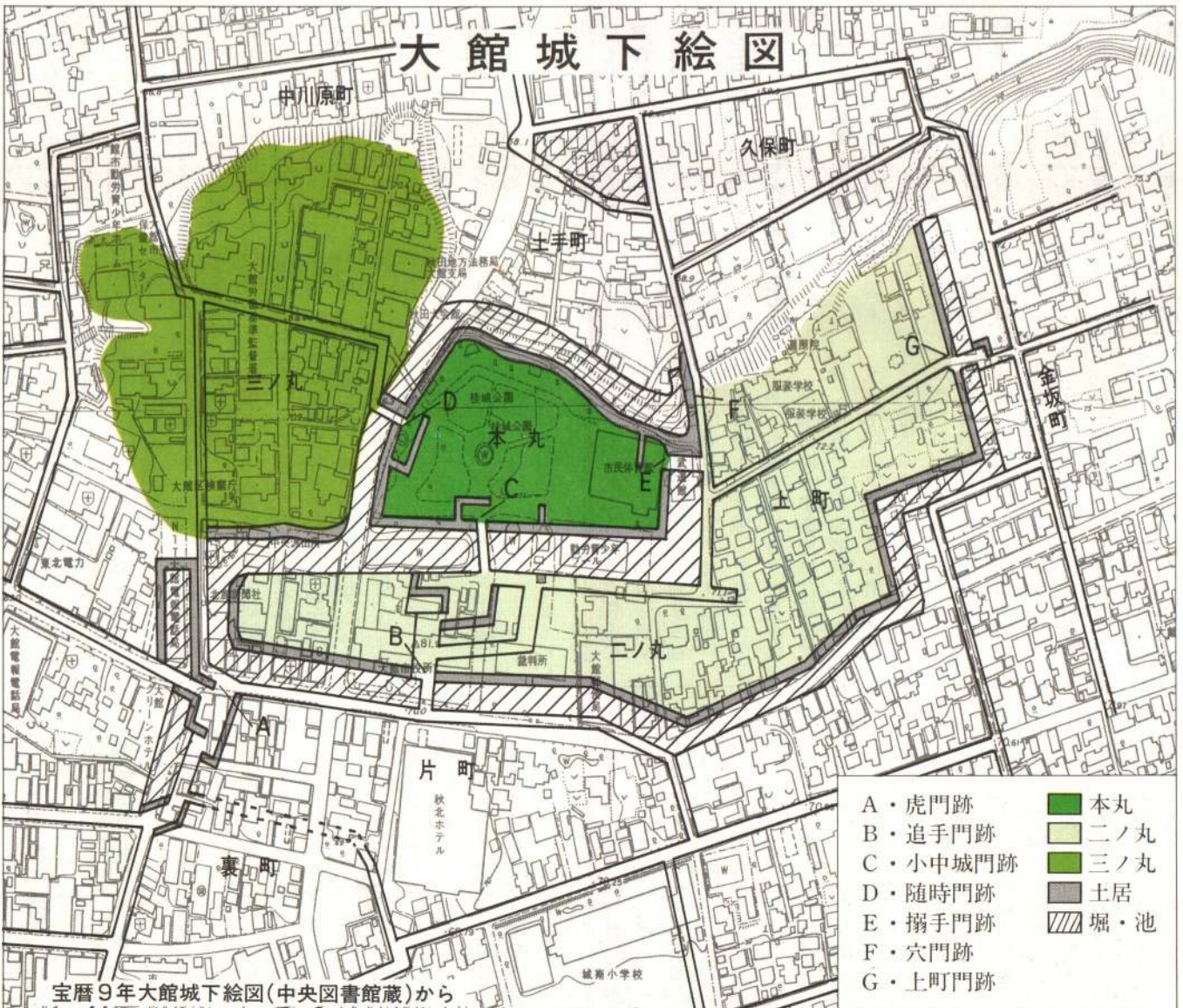
**上町門**

搦手門につながる城の裏口で、八幡神社や城主の別邸・青風亭などへ通じる門でした。

大きさ・幅1丈5尺(4・545尺)、高さ1丈2尺(3・636尺)

位置・遍照院入口の東側

大館城下絵図



宝暦9年大館城下絵図(中央図書館蔵)から